



一肌脱いじゃうひとのまち



芸のひとと技のひと



音のまち



個性あふれる店のひと

千住8不思議。 千住の164人。 雑誌 千住

Last edition
machi zassi senju



千住の食シーンがアツイ!



江戸を伝えるひとびと



古いものが新しい感じがする



2代目がイイ感じ



千住8不思議 その1 2代目がイイ感じ (photo K) ----- 6

001かどや 吉岡正明さん 吉岡佳子さん 吉岡大介さん(F/K,KS) 002いもや 島田清さん 島田俊子さん 吉田盾さん(F)
003松むら 立花千里さん 立花ヨシ子さん 小川大さん(T/K) 004北千住ワイン酒場2538-2 佐賀久芳さん(F)
005ダイトーストア 田中弘子さん(M/K) 006伊佐次 伊佐次茂伸さん(F) 007大はし 神野彦二さん 神野孝次さん 神野伶奈さん(F/KS)
008酒屋の酒場 川岸道二さん 川岸浩哲さん(S/K,KS) 009装雅堂 勝村英世さん 勝村真光さん(F)

千住8不思議 その2 古いものが新しい (photo KS) ----- 14

010傳吉商店 伊能大樹さん(Y) 011Coffee And Tales 長峯勉さん(M) 012イブキ 高村淳子さん(F)
013Atelier Aroom 佐藤ちひろさん(Y) 014奈可多”楼 なかだえりさん(Y) 015千住芸術村 加賀山耕一さん(Y)
016千住いえまちプロジェクト 山崎たいくさん(Y/KS) 017イトウケンチク 伊藤航さん(Y/KS) 【コラム】銭湯
018タカラ湯 松本康一さん(T/K,KS) 019金の湯 土田勇さん 土田亮子さん(T) 020緑湯 笠原孝さん(T/KS)
021大黒湯 清水勇喜子さん(T/K,KS) 022ニコニコ湯 鈴木秀光さん 鈴木月子さん(T/K,KS) 023旭湯 松島千恵子さん(T/KS)
024美登利湯 浜田藤行さん(F/KS) 025大和湯 森山悦子さん(T/KS) 026小桜湯 植竹照子さん(T/KS)
027梅の湯 梅澤幹雄さん(T/KS) 028松乃湯 確井治男さん(T) 【コラム】029町田忍さん

千住8不思議 その3 芸のひと 技のひと (photo KS) ----- 24

030絵馬屋 吉田晃子さん(F/KS) 031古今亭駿菊さん(O/KS) 032三遊亭兼好さん(Y) 033宮田章司さん(F/KS)
034風呂わく三さん(M/KS) 035小野表具店 小野彰子さん(F/K) 036渡邊鞆 渡邊憲一さん(Y) 037minca 田中健治さん(Y)
【コラム】千住の大学 038東京藝術大学 熊倉純子さん(O/KS,KT) 039東京電機大学 柿崎淑郎さん(O/KS)
040帝京科学大学 武政奈保子さん(O/KS) 041東京未来大学 金塚基さん(O/KS) 042三浦一朗さん(M) 043飯田鉄さん(F/T)
044伊礼智さん

千住8不思議 その4 音のまち (photo KT) ----- 34

045チャーリー高橋さん(F/A) 046ファンダンゴ・レコード 佐藤雅之さん(T) 047鈴木常吉さん(F)
048ミュージックライン千住 森川久雄さん(KN) 049小田山拓也さん(MA) 050音まち千住の縁 神谷知里さん(S/KT,M)
051エレナ・ブジョラさん(MA) 052小松亮太さん(KN) 053高関健さん(KN/KS) 【コラム】054渥美二郎さん(F/KS)
055焼肉京城 岩田俊光さん(F/KS) 056スナックかえる 森田京子さん(F) 【コラム】057木村衣有子さん(Boqueron photo KS)

千住8不思議 その5 江戸を伝えるひとびと (photo TK) ----- 46

【コラム】タイムトリップ(F/illust I) 058谷文晁さん 059松尾芭蕉さん 060伊豆長八さん 061水戸光圀さん 062建部巢光さん
063千葉佐那さん 064山岡鉄舟さん 065森嶋外さん 066下村家 下村康雄さん(F/TK,KS) 067横山家 横山恵章さん(F/TK)
068相川謹之助さん(F) 069名倉家 名倉静さん(F/TK) 070富澤八重子さん(F/KS) 071石鍋商店 石鍋昇さん 石鍋克江さん(F/KS)
072大橋眼科 鈴木英樹さん(F) 073市川歯科医院 市川敬一さん(F/K,KS) 074堀口茉純さん(F) 075波多野純さん(O)
076足立区郷土博物館 多田文夫さん(F/TK) 【コラム】077安藤義雄さん(photo TK/illust I)

千住8不思議 その6 千住の食シーンがアツイ！ (photo K) ----- 58

【コラム】2軒目もなぜか千住？！ 078一步一步 大谷順一さん(Y) 079わかば堂 島川一樹さん(F)
080サニーダイナー 関根勝さん(Y/K) 081ハノイデラックス 中根綾子さん(F) 082MOTORA 米本哲弘さん(M)
【コラム】わざわざ千住？！ 083Cielo Azzurro 湯本昌克さん(K/K) 084アダッキオ 岸本慧さん 岡田智至さん(K/K)
【コラム】千住ソウルフード？ 085宏月 佐藤公彦さん(F/TK) 086渡井良昌さん(Y) 087葱茂 安藤将信さん(Y)
【コラム】東京で魚を食べるなら千住 088市場食堂さかなや 関野隆文さん 中島敦子さん(F) 089廣正 広部恵子さん(F/K)
090武寿司 塚越利光さん(S/KS) 091粋心亭 菅原宏さん(F/KS) 【コラム】自然派宣言！ 092いのご菓子店(Y) 093エクル(Y)

千住8不思議 その7 一肌脱いじゃうひとのまち ----- 68

094小峰忠雄さん(F) 095吉川和宏さん(F/A) 096久保田生花店 久保田修平さん(F) 097学園通りフェア 遠藤章さん(O/K)
098岡本行央さん(O) 099千住街の駅 櫛原文夫さん(O) 100足立鳳まつり 北島一弘さん(O) 101街のみ北千住 植村昭雄さん(Y)
102千住酒合戦 葛谷文広さん(F) 103センジュ出版 吉満明子さん 104山田友計さん(S) 105北條隆司さん(S)

千住8不思議 その8 個性あふれる店のひと (photo K) ----- 76

106うなぎ まじ満 間嶋昭人さん(O/KS) 107鮎秋 浜田佐知子さん(F/KS) 108鮎与 内田文司さん(F) 109遠山 遠山吉信さん(F/KS)
110杉本青果店 杉本晃章さん(Y) 111横田青果店 横田清重さん(F) 112トーフショップむさしや 石野尚史さん(O)
113上岡商店 山口智恵子さん(T) 114山栄食品 粉川利二さん 粉川和久さん 粉川和恵さん(F/K) 115モカ 喜久雄さん(T)
116珈琲物語 望月章雄さん(F/KS) 117成田酒店 成田一司さん(Y) 118まつもとや 織畑直義さん(F)
119長谷川金物店 長谷川浩平さん(F) 120赤丸 中山忠夫さん(F) 121一やなぎ 今村節子さん(F)
122しんばし屋 長島健一さん(T) 123ひゃん 金沢和美さん(F/K) 124一初 箕輪清さん 箕輪初美さん(F/KS)
125せりかわ 芹川誠さん 芹川勝子さん(M) 126喜田家 田口恵美子さん(Y) 127石黒のあめ 増田裕さん(Y/KS)
128福寿堂 町田保二さん 町田晶子さん(F/KS) 129ふらんすや 三柴重夫さん(F) 130ニッピ 岩佐光雄さん(T)
131五福堂 渡辺徳吉さん(F) 132ぶっくらんど 菊池守さん(F) 133萬器 久保田真弓さん(Y) 134福水旅館 岸田節子さん(F/TK)
135吉村商事 鈴木恵子さん(N) 136安喰タクシー 安喰悦久さん(MA) 137ヘアーサロンノヒラ 野平一馬さん(F)
138野口ボクシングジム 野口詩延さん(F)

138人のアンケートを集計してみました！ ----- 91

町雑誌千住のこと 139～164 ----- 92

Contents



※千住の138人(+)の皆さんに以下の共通のアンケートにお答えいただきました
①千住歴②千住にきた理由③出身地④千住の好きなところ⑤千住の未来について⑥その他
※登場いただいた皆さんの年齢ほか情報は、取材時(2014～2015)のものです

※この目次ページの、お名前のおとの記号は、(取材者／撮影者)です。
取材者：O(大久保慧悟)、K(加藤有紀)、KN(古怒田悦子)、S(佐々木誠)、T(利岡健人)、N(なかだえり)、F(舟橋左斗子)、MA(松浦史子)、M(本館久美子)、Y(吉満明子)
撮影：KS(柏原文恵)、K(加藤有紀)、KT(加藤健)、TK(武居厚志)、T(館又将文)、A(雨宮透貴)、O(大塚歩)、M(森孝介)
イラスト：I(いいだみちる)

千住8不思議 その1

2代目がイイ感じ

昭和初期の東京では、個人商店が元気で、男の仕事といえば「職人」が多かったそう。でも高度成長期以降の東京では、企業中心に社会は回り、個人商店も職人も減りつつある。

そんな中、千住では、2代目、3代目の波が来ている。



千住にいるあなたへ 千住を想うあなたへ

～千住8不思議の謎を解く旅へのお誘い～

古来千住7不思議が伝えられてきたけれど、現代の千住にも8つの不思議がある。まちの不思議を、「人」を通して読み解いてみたい。そう思って、まちへ飛び出したこの1年だった。「まち」は「人」でできているから。

美味しい店も、素敵な手しごとの品も、美しいまちなみも、心豊かにしてくれる文化も…見えるもの、感じるもの、すべて「人」がつむぎだしてきたもの。138人(+)一人ひとりとお会いし、お話し、ときに話し込み、ときに盛り上がり、ときに叱られ…

たずさわった編集スタッフ一人ひとりが、8不思議の奥深さに魅了された取材だった。

個人店のイキのいい千住。
昔ながらの職人氣質と、現代の職人氣質が息づく千住。
古いものをきちんと今の時代に伝え、新しい感覚で取り入れる千住。
昔も今も、ユニークな文化を育む千住。
チャレンジする千住。
熱くて温かくて、でもほどほどの距離感を忘れない、クールな千住。

……
1ページ1ページ読み進めていただくうちに、ぼんやりと、千住の輪郭が見えてくるといいなと思う。

まだまだ、お話を聞きたい人があったし、取材を進めながら、どんどん会いたい人が増えていった。でもいったん、ここでひとくぎりしよう。

これからも、もっともっと千住の人と出会いながら、千住ライフを楽しんでいきたいと思っているから！さあ、皆さんも、千住8不思議の謎を解く旅へ。一緒にしましょう。



夏も冬も同じ味

白砂糖はつかいません。混ぜ物が多いからです。ざら目と塩を使ってあんこを煮ると、これ以上入らないというくらい砂糖を入れていますが、雑味がなくまろやか。砂糖がたくさん入っているで夏でも腐らず、1ヶ月くらい熟成させて使うことでより美味しくなる。夏も冬も同じ味、同じ食感をお客様に味わっていただきたいから、粉の顔色を見ながら練る湯の量を変え、つき方を変える。店に立つと、お客様の来具合を見ながら、その日その日で準備を変えています。

昭和23年、初代と2代目が、焼き芋、ふかし芋、団子で店を始め、自分は選択の余地なく継い

で3代目。息子には継がなくていいって言ったけど一緒にやってくれている。小さいときから手伝ってきたからかな。おじいちゃん厳しくて、中学の頃は朝、店の手伝いをしてから学校行っていましたからね。

3・11のとき大きく揺れて、みんな飛び出し、向かいへ逃げた。うちが左右に大きく揺れているのを見て怖かったですね。ちょうどその年に家の持ち主から買わないかと話があり、買う決断をして建て替えました。今は安心感がありますね。(正明さん談)

かどや

001

吉岡正明さん (かどや3代目)63歳

①63年②③千住出身④子どものときからの友だちが案外たくさん残っていること。月1回飲み会やっている⑤このころ駅前あたり行くとチェーン店ばかり。そうじゃなくて、自分の持ち味を持った個性豊かな店が増えてくると、人がいっぱい集まるまちになるんじゃないかなと思う。自分のまち、大好きだからね。チェーン店ははっきり言ってよそ者。個人商店じゃないから、損得だけでやってるし、撤退も早い

吉岡佳子さん

(かどや3代目おかみさん)62歳

①36年②嫁に来た③豊洲④もんじゃ今井。ご主人が具合悪くてしばらく休んでたけど、なくなると困る。あとを継ごうかと思うくらい(笑)⑤5丁目あたりがもうちょっと活性化してほしい

吉岡大介さん

(かどや4代目)31歳

①31年②③千住出身④飲み屋がいっぱいあるところ⑤今のまが いい

千住は茨城の人が多くて茨城に似てる

茨城から出てきて千住の三徳食堂で板前やっていたとき、昭和36年に親戚の神田のいもやが支店を出すというので手伝いに行った。同じ頃、結婚して2人一緒に働いていたんだけど、すぐに子どもができて、1人の賃金じゃやってけないってんで千住龍田町に天ぷらの惣菜屋をはじめてね。少しお金貯めて、自信もついたので、のれん分けてもらって3丁目に天ぷらのいもやを出した。のれん分けたけど俺流だよ。こういう商売だから、誰が来ても話できるよ。旅行もグルメも競馬も何でもやったよ。(清さん談)

赤ん坊が生まれて2カ月で店に立ったのよ。大変だったわ。(俊子さん談)

002

島田清さん (いもや初代)81歳

俊子さん (いもや初代おかみさん)80歳

①52年(昭和37年)に龍田町に出店。42年に3丁目にいもや出店②店を持つため。働いたことがあったし市場も近いから③茨城④何でも話せて気さく。黙っていると「どっか具合悪いの」って聞かれる(笑)⑤昔の神田みたいになるんじゃないかな。神田で働いたときは電大のすぐそばだったので、電大が追っかけて来たって言うてるよ(笑)

子どものころに食べに来て

マスターの娘の子どもにあたります。母が学生時代にここでバイトしてて、自分も子どものころに何度か食べに連れて来てもらいました。美味しかったんでしょね。残さず全部食べました。飲食店でバイトしていたとき、いもやを継いではと母から勧められて、やってみようかなと思いましたが、いつまでもバイトじゃ仕方ないし、いもやは美味しい店なので、なくすのはもったいないと母も自分も思いました。(盾さん談)



■いもや 千住 3-31 ☎03-3881-9744

天ぷら用でなくケーキに使う小麦粉を使うなど良い材料を選び、からりと絶妙に揚げた天丼が人気で、TV取材が引きもきらない名店。味もさることながら、夫妻との、明るくて気さくながら気遣いのある会話も魅力。2代目も爽やかに馴染んでいる

じゅん

吉田盾さん (いもや2代目)29歳

①4年(住2年)②いもやで働くため③茨城④故郷の茨城に似ていて自然体でいられる。都会過ぎると息が詰まる

いもや



立花千里さん (松むら店主)76歳

ヨシ子さん (松むらおかみさん)76歳

①50年②のれん分け③福島④歴史ある宿場町通り(歴史が好きでね、稲荷寿司やめたら勉強して歴史の先生になりたいよ)⑤まへの人に愛される個人商店が元気なまち

松むら

■松むら 柳原 2-23-6 ☎03-3881-1790

立川談志さんも愛した稲荷寿司の名店。稲荷寿司と千びょう巻きだけがメニュー。稲荷1個105円(税込)ながら1つひとつ手づくりで、しっかりと味がしみ込んで美味!主人の、気取らず温かな人柄も千住名物

003

まさる

小川大さん

(松むら2代目)47歳

①6年②嫁さんの実家③埼玉県坂戸市④路地裏(自転車に乗って千住の路地を散策するのが趣味です)⑤チェーン店じゃないお店が元気なまち

16歳から稲荷寿司ひとすじで

昭和三十九年、16歳で浅草の「松むら」に丁稚奉公にでたんだ。一番弟子として朝の6時から夜11時まで毎日働いたよ。親の言いつけで師匠より後に起きたことは一度もなかったね。当時は10代だったんで、吉原に配達に行つて姉さんたちからかわれたこともあるね(笑)。がんばりが認められて、昭和39年「松むら」で初めて、のれん分けとして柳原に店を出した。当時の柳原は田舎で、どうしようかと思つたけど、自分の手前、絶対に成功させなきゃならない、やってやるぞという気持ちでどんな注文も断らずにがんばってきた。

息子が継ぐ予定だったんだけど事故で亡くなってしまつて、自分の代でおしまいと諦めていたんだ。そしたら娘の旦那が継いでくれるつてんでうれいよ。

前職は美術映像の仕事をしていました。飲食とは無縁でした。ゼロからのスタートですが、昔からの指導は厳しいですが、昔からの味を守っているように日々がんばっています。これからも松むらをよろしく願います。



以前のかどや。戦後すぐから営業してきた印象的な建物だった。2012年に建て替え、現在も旧日光街道に似合う和風の建物で店を営む

■かどや 千住 5-5-10 ☎03-3888-0682

昔から餅菓子屋が多かった千住の中で、ほぼ団子だけに限定し営業する人気店。「あまいの」「からいの」の2種を、七輪であぶりながら、いつもほんのりあたたか状態店頭に並べている